

市議会 だより

令和6年9月定例会報告

鶴ヶ島市議会



満員
御礼

夏休み議会体験ツアー！

鶴っ子議会

開催しました！

目次

鶴っ子議員が考える	
住みやすいまちってどんなまち？	2
特集 令和5年度決算	4
市の考えを問う 一般質問	8
9月定例会報告	13
委員会審査	14
決議・意見書	15
2024鶴っ子議会	16

「自然が多くごみのないまち」
木が多くあって小さなこどもからお年寄りまで楽しめる公園があるといいと思います。

勝又 菜々子さん

「みんなが住みやすいまちに」
「1.トイレがきれい2.遊ぶ所が多い3.給食の量が多い4.安心安全」なまちにしていきたいです。

加藤 陽登さん

「防災無線が聞きやすいまち」

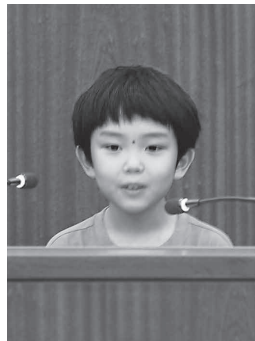
防災無線の声は聞こえにくいのではっきりした声にして欲しいです。

川口 紇さん

「みんなが安全に遊べる公園」

公園の柵を高くしてボールが出ないようにして欲しいです。

鈴木 リのあさん



「学校のトイレを洋式に」

全ての学年のトイレを使いやすい洋式にして欲しいです。

隅 美紗希さん



が考える ってどんなまち？」

ご参加いただき
ありがとうございました。



「安心して利用できるトイレ」

皆が安心して使えるように、学校は洋式トイレが良いと思います。

芹澤 絵玲菜さん

「授業を自分で決められる学校」

授業の内容を自分で決めれば、生徒の得意なところを伸ばせると思います。

中道 晴吾さん

「車の飛び出しのないまち」

登校時間に一時停止しない車があるので、信号機を増やして欲しいです。

田村 凜さん

「歩行者に優しい道路」

安全のために、道路のコボコを直して、横断歩道を増やしてほしいです。

田中 優衣さん

「各クラスにエアコン設置を」

暑い日も授業を集中して受けられるように、全クラスにエアコンを設置してほしいです。

高橋 ちなみさん

「遊ぶのが楽しいまち」

ドッグランやアスレチック、遊園地など家族や友達と遊べる場所が欲しいです。

秋山 咲楽さん

「公園の遊具の充実」

公園にバスケットボールコートや遊具を増やして欲しいです。

石岡 愛梨さん

「こどもやお年寄りまで元気になるまち」

こどもに遊んだり勉強できる広い場所、大人に憩いの場所が欲しいです。

石岡 夏梨さん

「熱中症にならないまち」

体育館にクーラーや扇風機を設置。緑を増やし日陰を多くして欲しいです。

大泉 瞳さん

「きれいな公園」

夏に公園で遊べるように、雑草をみんなできれいにできると良いと思います。

渡邊 いろはさん



鶴っ子議員 「住みやすいまち」

令和6年7月28日(日)に、庁舎3階の議場で、鶴っ子議員19人が1分間スピーチを行いました。

グループワークで、鶴っ子議員たちが住みやすいまちについて意見を出し合い、1分間スピーチに活かしました。

「誰もが過ごしやすいまち」

目の不自由な人が安全に横断できる、音の出る信号機を増やしてもらいたいです。

水原 紬さん



「みんなに居場所がある学校」

居場所のない児童のために自分の特性に合わせた場所を設置できると良いと思います。

平栗 佑峰さん

「こどもに優しいまち」

中学校登校中の熱中症予防のために、みんなが自転車通学できると良いと思います。

野口 花音さん

「オンライン授業を可能に」

感染症の拡大防止や登校中の熱中症予防に役立つ「オンライン授業」が良いと思います。

浪川 万利那さん

令和5年度決算特集 あの予算どうなった？

真剣勝負！議員の注目点！

審査内容の詳細は、6、7ページに記載

※会派とは、市政に対して同じような意見や考え方を持った議員の集まりです。

会派：公明党

賛成

こどもにやさしいまちづくりへ、事業の着実な実施

新生児祝い事業や保育園改修などを実施。更なる子育て支援の拡充につなげたい。



今野 雄一 議員

賛成

子育て環境の充実を図ることができた

出産祝い事業、民間保育所の運営支援や施設整備の支援など、子育て環境の充実に努めた。



小林ひとみ 議員

賛成

「恍惚と不安二つ我にあり」の鶴ヶ島の将来

コロナ、物価高、少子化への一時的な国の財政支援、財政指標に見られる行政基盤の厳しさ。



山中 基充 議員

会派：新政クラブ

賛成

避難所環境改善対策事業

体育館の空調導入工事調査・設計・工事。西中学校・南中学校・藤中学校・富士見中学校。



小川 茂 議員

賛成

新型コロナウイルスからの脱却・その先へ

人々の交流する機会や市民生活への活気が戻る事業が展開された。



瀧嶋 正紀 議員

賛成

未来世代のために市の方向性は正しかったか!!

肝心な「切れ目ない支援の継続」、「未来に向けた躍進」、「時代変化への対応力」羽ばたく鶴に。



杉田 恭之 議員

賛成

命と心と生活を支えるためには課題が残る

生活保護扶養割合率の減少や、学校内の相談体制を評価。自殺対策や気候危機対策に課題。



福島 恵美 議員

賛成

行政の情報システムの活用推進について

DXの推進を評価。苦手な職員のスキルアップが課題。



出雲敏太郎 議員

会派 すだち
大野 洋子 議長
※議長は本会議の議事
進行を行います。



会派 新政クラブ
高橋 剣二 議員
※監査委員として審査
しています。

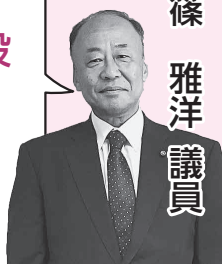


会派：かがやき

賛成

市民センター等公共施設の 設備更新

安心かつ快適な利用を維持する
ために、高圧受電設備・空
調設備などの設備を更新。



高篠 雅洋 議員

賛成

地域との情報連携が重要 となる災害対策事業

頻発・激甚化する自然気象災
害に備えて、先手を打った防
災・減災対策の必要性。



内野 嘉広 議員

会派：日本共産党

賛成

コロナ禍対応から平時へ の財政運営に切替え

コロナ禍で急増した国庫支出
金に過度に依存せず、今後の
計画に充てる基金積立を実施。

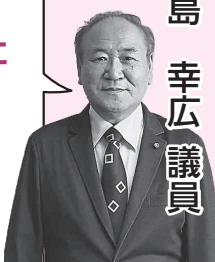


太田 忠芳 議員

賛成

コロナ対策事業から新た な事業展開へ移行

市民センターや学校などの空
調設備の修繕が進み、避難所
作りの対策ができた。



小島 幸広 議員

会派：すだち

賛成

ゆっくりだが確実に進め ていくこども支援

今後の課題はマイノリティ属
性を持つこどもの支援に市と
してどこまで踏み込めるか。

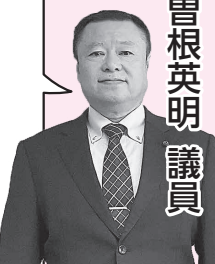


小川 尋海 議員

賛成

注目される鶴ヶ島！ 活性化に向けて進行中

市民がワクワクする政策の実
現に向けての第一歩を歩み始
める年度。



大曾根英明 議員

反対

子どもにやさしいまちづ くりの実態を知ろう

埼玉県内でも保育料が高い鶴
ヶ島市はこどもにやさしいの
だろうか。

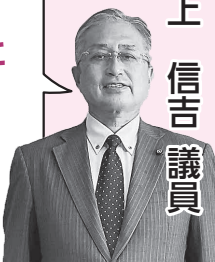


長谷川 清 議員

賛成

出産前のゆりかご教室と 産後ケア事業

出産前後に助産師などから丁
寧に指導してもらえる、本市
の誇る母子健康包括支援事業。



村上 信吉 議員

一般会計決算を認定！

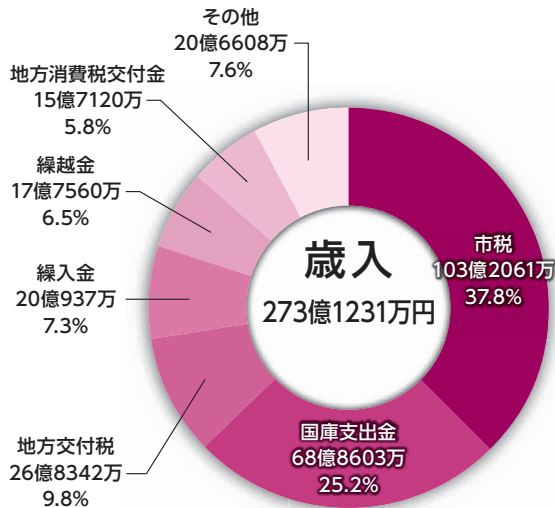
一般会計

歳入

約273億1231万円

歳出

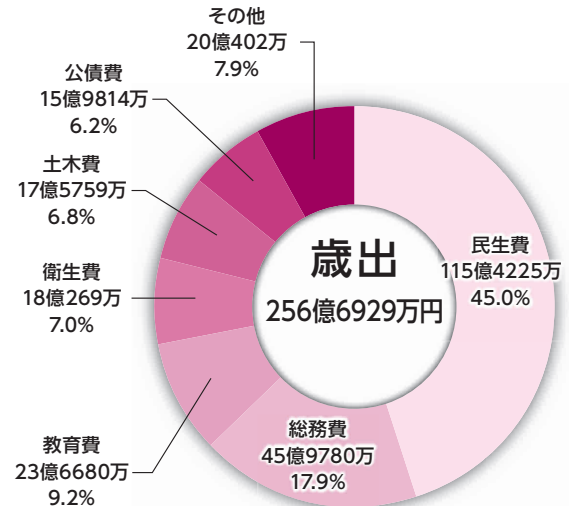
約256億6929万円



市 税 市民税、固定資産税などの税収入
国庫支出金 特定の事業のために国・県から支出されるお金
地方交付税 市の財政状況に応じて国から交付されるお金

令和5年度の一般会計決算と特別会計決算（5議案）は、所管の常任委員会に付託し、審査しました。

最終日の本会議での採決の結果、いずれも認定されました。



民生費 こども、高齢者、障害者などの福祉全般に使うお金
総務費 住民窓口、課税徴収、ICT化など市の総括的な事務に使うお金
土木費 道路、公園整備などに使うお金
教育費 学校運営、生涯学習、スポーツなど、教育全般に使うお金
衛生費 保険衛生、公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金
公債費 市債を返済するために使うお金

特別会計決算を認定！

国民健康保険	歳入	約69億3860万円	一本松土地区画整理事業	歳入	7776万円
	歳出	約68億3442万円		歳出	約6973万円
後期高齢者医療	歳入	約10億4658万円	若葉駅西口土地区画整理事業	歳入	約1億8142万円
	歳出	約10億4385万円		歳出	約1億7636万円
介護保険	歳入	約50億4308万円			
	歳出	約47億6560万円			

介護保険特別会計

Q 収入未済の内容は。

A 現年度分及び滞納繰越分を合計し約942万円で、前年度と比較して約178万円の増であった。これは、令和3年度に差押えなどの滞納処分を進めたことによる反動などが要因である。



国民健康保険特別会計

Q 9年度の保険税率の準統一に対して国民健康保険特別会計の見通しは。

A 元年度から法定外繰入金を2,000万ずつ削減しており、7年度には法定外繰入金は0とする。今後、財政調整基金を活用しながら、年間の調整を図り運営していく。

衛生費 ゼロカーボン推進事業

事業内容・委員からの質疑

- 1 ヘチマ・プロジェクトの実施
- 2 ゼロカーボン推進店認定制度の運用
- 3 公共施設への太陽光発電設備等導入調査の実施
- 4 ゼロカーボン推進補助金の交付

Q ゼロカーボン推進補助金の交付実績は。

A 384件、1595万1000円の交付をした。

Q 太陽光発電設備の導入による効果の見込みは。

A 23施設全てに太陽光発電を導入すると、二酸化炭素の排出量を約2割削減できる。



予算現額 46,806,000円
支出済額 27,820,242円
執行率 59.4%
翌年度繰越額 18,227,000円

民生費 子ども・子育て支援事業計画策定事業

事業内容・委員からの質疑

第3期子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和7～11年度）の策定にあたり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業などのニーズ調査の実施及び分析を行った。

Q アンケート調査の結果から見てきたものは。

A 保護者の就労状況や子育てに関する経済的負担の感じ方などに変化があった。

少しでも子育て世帯の負担軽減につながる事業を検討していきたい。

予算現額 3,638,000円
支出済額 3,155,572円
執行率 86.7%



教育費 小・中学校鶴っ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業

事業内容・委員からの質疑

夏季休業期間中に、希望する児童・生徒に自主的に学習する機会を設け、「確かな学力」を育成する。また、教職を目指す大学生などを学習指導補助員として採用し、児童・生徒と大学生双方の成長を促す。

Q 執行率が低い理由は。

A 大学の試験日程や授業と重なり、応募数が、定員に達しなかったためである。

Q 事業の実施期間は変えられなかったのか。

A 学習意欲、学習習慣の定着が一番の目的であるため、夏休み開始後すぐに始める事が大切である。そのため、日程の変更は行わなかった。

予算現額 4,794,000円
支出済額 3,689,675円
執行率 77.0%



土木費 交通安全対策事業

事業内容・委員からの質疑

- 1 交通指導員による立哨活動及び交通安全教室の開催
- 2 交通安全街頭啓発事業などの開催
- 3 交通安全団体活動費補助金
- 4 自転車用ヘルメット購入費補助金（小学生以下及び65歳以上）の交付

Q ヘルメット購入費補助金の利用者の割合は。

A 12歳以下が193人、65歳以上が347人であった。

Q 交通指導員の任用状況は。

A 5年度は予定より5人少ない19人であった。引き続き指導員の募集を強く進めていく。



予算現額 15,295,000円
支出済額 11,184,100円
執行率 73.1%

民生費・ほか 思いやり駐車場整備事業

事業内容・委員からの質疑

- 1 車いす使用者などの対象者への利用証の交付
- 2 各施設の駐車場整備

Q 妊産婦への利用証の交付実績は。

A 全体で269件、妊産婦には42件交付した。

予算現額 19,454,000円
支出済額 18,399,853円 執行率 94.6%

土木費 放置自転車防止対策・リサイクル事業

事業内容・委員からの質疑

- 1 放置自転車の撤去・保管・返還
- 2 一本松駅南側仮設自転車置場の開設

Q 放置自転車の撤去とリサイクルできた自転車数は。

A 56台を撤去し、8台をリサイクルした。

予算現額 7,319,000円
支出済額 7,284,068円 執行率 99.5%

14人が行った



一般質問



一般質問とは、議員が市の一般事務について執行機関に対し説明や報告を求めるものです。
9月議会は、3日間にわたって熱い議論が繰り広げられました。ここでは、概要をお知らせします。気になる質問を見つけたら、二次元コードから、当日の様子をチェック！

福祉・健康

一人残らず安心して暮らせるために	太田 忠芳	p8
医療用ウィッグなど購入費助成	山中 基充	p9
高齢者支援	小川 茂	p9
ユマニチュード	小林ひとみ	p9
発達障害支援	小川 尋海	p10

教育・文化

こどもと共に創る未来	村上 信吉	p10
教員の負担軽減	福島 恵美	p10

市民生活

防災減災対策	内野 嘉広	p11
ごみ問題	出雲敏太郎	p11
トイレトレーラー導入を	今野 雄一	p11
自治会の活性化	高篠 雅洋	p12

都市整備

インフラ整備	瀧嶋 正紀	p12
--------	-------	-----

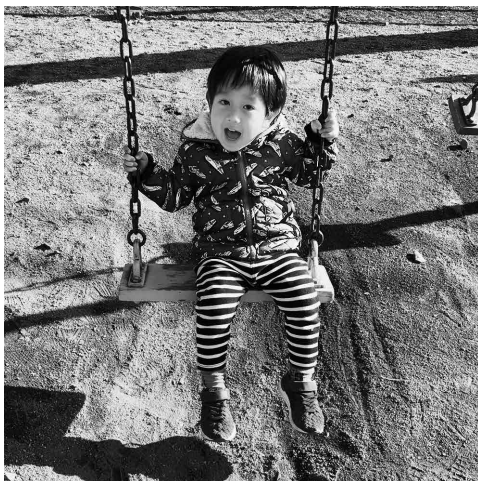
市政運営

齊藤市政の評価は	長谷川 清	p12
鶴ヶ島のビジョン	大曾根英明	p13

福祉・健康

Q 一人残らず安心して暮らせるために

A 実情に応じた適切な施策の運用などを進めていく



安心して暮らすために

問 生活費保障に関する施策は、安心して暮らせるよう生活保護制度として、生活扶助、住宅扶助、医療扶助などの必要な扶助を支給している。

答 安心して暮らすための施策推進の課題は、その時々状況に応じ、時代の変化にも対応しながら多様な観点から推進していくものである。今後も国の制度と歩調を合わせつつ、市民の暮らしの実情に応じた適切な施策の運用を進めていく。

問 施策推進のための財源の確保は、福祉に関わる各種の施策については、多くは国の施策に関連している。今後も国や県が発する情報などを注意深く捉え、補助金などを有効に活用していくことにより、財源の確保に努めていく。



おおた ただよし
太田 忠芳
議員



福祉・健康

Q 医療用ウィッグ、乳房補正具などへの助成について

A 令和7年度からの実施に向け準備を進める

埼玉県のアピランスケア事業のチラシ



問 アピランスケアとは、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのことである。市の取組は。

答 現在は、事業を実施していないが、重要であると認識している。

問 県の医療用ウィッグ、乳房補正具などの購入費助成の取組は。

答 令和6年度から市町村が、がん患者に対し助成をした際に補助金を交付するアピランス助成事業を開始した。

問 本市での助成について。

答 がん治療と社会性を両立し、安心して自分らしい生活を送るために、ウィッグや乳房補正具などの購入費用の一部を助成する事業を7年度から実施する準備を進めている。



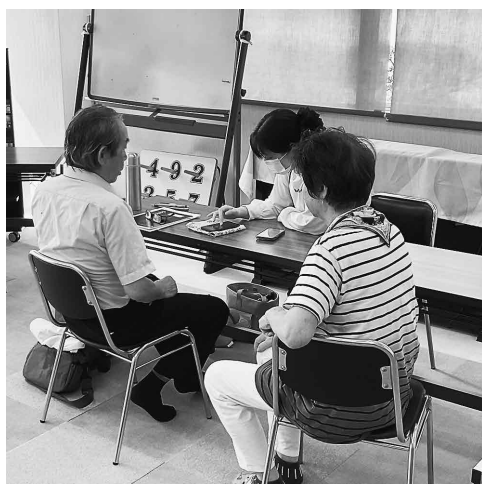
やまなかもとちか
山中基充
議員



福祉・健康

Q 高齢者への支援体制について

A 高齢者を支える仕組みづくりに取り組んでいく



スマホよろず相談の様子

問 独り暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯への支援について。

答 社会からの孤立を未然に防止し、必要な支援やサービスの確につなぐ体制をつくることが不可欠である。今後、生活支援員や地域包括支援センターの職員が戸別に訪問し、必要な相談・支援につなげていく。

問 見えてきた今後の方向性と課題について。

答 今後更なる高齢化が進展し、独り暮らしの高齢者や認知症高齢者などの増加も見込まれるため、支援体制の構築が大きな課題の一つである。これまでも高齢者実態把握調査などによる必要な支援や地域の関係機関と連携した相談支援体制の強化を行ってきた。引き続き取組を継続するとともに高齢者を支える仕組みづくりに取り組んでいく。



おがわしげる
小川茂
議員



福祉・健康

Q ユマニチュードについて

A 有用であると認識している



介護負担軽減のために

問 ユマニチュードは、ケアを受けている人に対して、「あなたは私にとって大切な存在です」と伝えるための技術である。ユマニチュードに対する市の見解は。

答 認知症ケアの基本は、認知機能をこれ以上、低下させないよう支援するとともに、心のケアを含めたサポートをすることである。ユマニチュードの技法は、認知症ケア対象者の尊厳、人間らしさを尊重するという点において有用であると認識している。

問 ユマニチュードの周知へ見解は。

答 平成29年度に家族介護教室で、ユマニチュードの技法を用いた認知症ケアの講義を行った。今後も地域包括支援センターや認知症ケアに関わる介護の関係者の話を伺いながら、ユマニチュードの周知を検討していく。



こばやし
小林ひとみ
議員



福祉・健康

Q 発達障害の悩みは市が支えよ

A 市では、様々な支援を行っている



発達支援センターの相談室の様子

問 就学後の支援は。
答 教育センターや県の発達障害総合支援センターで相談を受け付けている。また、学校生活において児童・生徒の困り感に気づいた場合、保護者の合意を得た上で、適切な教育が受けられる学びの場を勧める。また、診断を受け、必要な場合は、障害福祉サービスの支援を行う。なお、放課後等デイサービスと保育所等訪問支援により支援も行っている。

問 就学前の支援は。
答 発育、発達の専門相談である親子相談で、医師、保健師、臨床心理士などの専門職が経過観察し、医療機関や療育機関につなげるなどの支援などを行っている。また、障害福祉サービスの支援が必要な場合は、児童発達支援や保育所等訪問支援をしている。



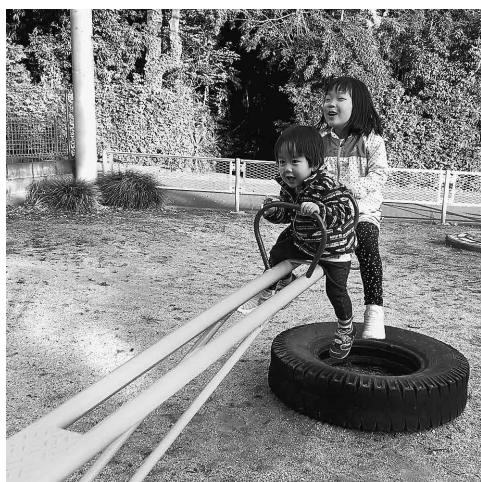
おがわ ひろみ
小川 尋海
議員



教育・文化

Q こどもと共に創る鶴ヶ島の未来

A 地域と共にある学校を目指していく



こどもと共に創る鶴ヶ島の未来

問 地域活動の推進に関する施策は。
答 児童・生徒の見守り活動として、登下校のほか、小学校のまち探検の授業や、中学校の社会体験チャレンジ時の交通誘導など、学校応援団を中心に多くの地域の方に協力をいただいている。また、教育支援として、家庭科の授業でのミシン縫い、読み聞かせなど、地域の方に行っていたいっている。このような交流は、地域の方々の学校理解や学校を核とした地域の活性化にもつながっている。

問 地域と共にある本市の教育の将来像は。
答 こどもによって地域が生きられ、地域によってこどもが育まれていく、地域とともにある学校である。今後こどもたちが健やかに成長できるよう、学校、家庭、地域と連携し、地域と共にある学校を目指していく。



むらかみ しんきち
村上 信吉
議員



教育・文化

Q こどもたちのためにも教員の負担軽減を

A 学校全体の業務改善に取り組む



教員の負担軽減へ

問 教員の過重労働や過度な要求をしてくる保護者への対応は教員のメンタルヘルスに深刻な影響を及ぼしている。また、教員の自腹問題も新たに浮上している。
答 これらの問題は、教員のなり手不足や離職、教育の質、こども達の学びや安心して学べる環境に影響を及ぼす重大な課題である。

問 教員負担の現状把握と対策は。
答 ストレスチェックや休暇の取得状況などを確認し、校長による面談を行っている。勤務時間外の在校時間は年々減少しているものの、心理的な仕事の負担が量、質ともに高くなっている。校務支援システムの導入による事務処理の効率化など、学校全体の業務改善に取り組むとともに、個々の状況に応じた対応を行っている。



ふくしま めぐみ
福島 恵美
議員



市民生活

Q 自然気象災害における防災減災対策について

A 素早く対応できるよう準備している



市内の道路冠水

答 最新の気象情報を踏まえ、風水害職員対応マニュアルに基づいた迅速な対応が重要である。しかし、突然のゲリラ豪雨は、災害応急活動の素早い準備が困難な場合があるため、冠水の想定地域周辺にあらかじめ土のうや通行止め看板を用意し、素早く対応できるように準備している。また、防災ハザードマップなどで過去の道路冠水による危険箇所などの注意喚起のほか、事前対策の周知を図っている。

問 多発する自然気象災害から見てくる課題は。
答 7月の突風などによる急な気象変化による倒木や、8月の大雨による床上、床下浸水の発生など、災害の激甚化が課題である。
問 記録的短時間大雨などの豪雨災害における防災減災対策について。



うちの
よしひろ
内野 嘉広
議員



市民生活

Q ごみ問題解決のために

A 引き続き効果的な取組を研究していく



市内ごみ集積所

問 ごみ問題に関する相談の主な内容は。
答 自治会では対応が困難なごみ集積所の管理やルール違反のごみに関するることなどである。
問 ごみ集積所の多くは民地に設置しているが、土地所有者や周辺住民の同意なくしては設置できない。設置が困難な場合の対応は。
答 民地にごみ集積所を設置できる場所が見つけられない場合には、道路上や公園内、その他市有地の中から設置場所を探している。市有地の中でも設置が難しい場合には、再度民地での検討をお願いしている。

問 生ごみ処理機の購入補助に対する考えは。
答 現時点では、生ごみ処理機の購入補助は考えていない。ごみの減量に向けて引き続き効果的な取組を研究していく。



いずも
しんたろう
出雲敏太郎
議員



市民生活

Q トイレトレーラー導入の検討を

A 導入計画はないが、トイレ環境の整備について研究していく



災害に備えた防災訓練

問 トイレトレーラー導入の検討を。
答 現在では、費用対効果や運用面の課題などから導入計画はないが、他自治体の動向を踏まえ災害時協定による手法も含め、より快適なトイレ環境の整備について引き続き研究していく。

問 災害時にも衛生環境を保つことができるトイレトレーラーの共助制度の認識・評価は。
答 衛生面や快適性を備えた災害時のトイレ対策の一つとして有効である。導入自治体間で相互支援のネットワークを築き、水洗トイレの使用困難な地域への派遣など、衛生的なトイレ環境の確保に効果がある。



こんの
ゆういち
今野 雄一
議員



市民生活

Q 自治会の活性化に向けた施策を

A 参加したくなるような新しい仕組みを検討していく



自治会の活性化へ（西市民センター）

自治会は地域コミュニティにおいて中心的な役割を果たし、災害時にも住民が互いに支え合い、協力していく上で必要不可欠な組織である。

問 活力ある自治会組織への推進方策は。

答 第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画に基づき活動支援や地域活動への参加機会の創出に努めている。負担軽減策として、自治会の業務を整理し、市民センターなどが負担の受皿となるよう、共助、互助の機能を検討する。自治会が顔の見える関係づくりなど、本来の活動に注力しやすくなることを目指す。

加入促進策には、住民の事情に応じた会員制度や、役割に応じた特典などの新しい仕組みを検討していく。新たな施策を進め、活力ある自治会組織の推進に取り組んでいく。



たかしの
まさひろ
高篠 雅洋
議員



都市整備

Q インフラの整備について

A 道路舗装修繕計画に基づき舗装修繕に取り組んでいる



市道の現状

問 鶴ヶ島市道路舗装修繕計画における現状と課題は。

答 経年劣化や交通量の増加などにより、特に幹線道路の面の損傷が顕著に現れている。現在、鶴ヶ島市道路舗装修繕計画に基づき舗装修繕に取り組んでいる。

課題は、築造から20年以上経過した都市計画道路の舗装修繕である。施工による多額の経費や交通規制による周辺道路を含めた渋滞への対策などの課題を整理し、今後も舗装修繕を適切に実施していく。

また、圏央鶴ヶ島IC周辺の道路整備や国道407号バイパスの開通などにより、交通環境が変化するため、今後、各路線の再調査を行い、損傷の管理頻度などの各評価項目により新たな計画策定を行っていく。



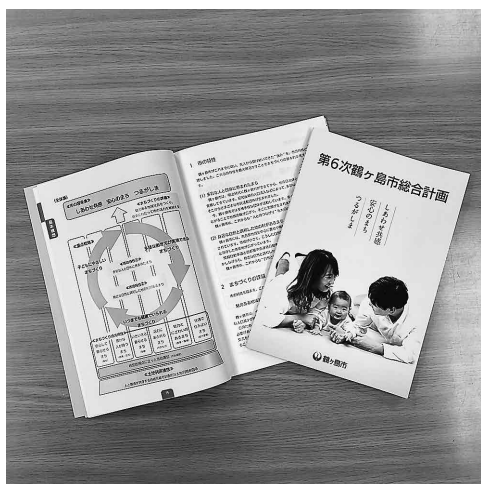
たかしま
まさのり
瀧嶋 正紀
議員



市政運営

Q 齊藤市政5年間の評価は

A 愛着度や定住意向を更に高める取組を進めていく



齊藤市政の評価は

本年度中に第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画が作成される。前期基本計画の中間評価が示されたが、惨憺たるものと感じた。改めて市長の評価を確認する。

問 市長の評価と感想について。

答 市民意識調査の結果が芳しくなかったことは真摯に受け止めている。引き続き愛着度や定住意向を更に高める取組を進めていく。

問 後期基本計画に引き継がれる教訓は。

答 前期基本計画の評価などを検証し後期基本計画に臨むことが重要である。現状把握などの分析を行い、政策立案に生かし、重点戦略や前期基本計画の必要な見直しを行う。

重点戦略を柱にまちづくりの課題解決に取り組む政策と各施策を確実に実行し、安心して暮らし、幸せを感じるまちづくりを進める。



はせがわ
きよし
長谷川 清
議員





市のビジョンは（市庁舎）

問 教育環境について。
答 確かな学力を育成するため、主体的、対話的で深い学びの視点に基づいた学び合い学習を行っている。
また、体力向上推進委員会の設置や体育の授業で行う共通の補強運動で体力向上に取り組んでいる。今後も、「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」を合い言葉に基本的生活習慣の確立と確かな学力、健やかな体の育成に取り組んでいく。
防災対策として、学校安全計画と危機管理マニュアルを作成し、毎年見直しをしている。また、今年度は防災教育の専門家を招き、藤小・中学校をモデル校とした防災訓練を行う。今後は、この取組を広め、災害時の実践力及び防災教育における指導力の向上に取り組む。



おおそねひであき
大曾根英明
議員



令和6年第3回定例会の日程（会期29日間）		
8/27	本会議	開会 議案第45号～第65号及び諮問第1号を上程
9/2	本会議	議案第45号、第46号、第49号、第51号、第60号～第65号を採決 決議案第1号を上程及び採決 議案第47号、第48号、第50号、第52号～第59号及び諮問第1号を委員会付託
4	総務産業建設常任委員会 本会議	付託議案審査 諮問第1号を採決
5	文教厚生常任委員会	付託議案審査
6・9・10	予算決算常任委員会	付託議案審査
17・18・19	本会議	一般質問
24	本会議	議案第47号、第48号、第50号、第52号～第59号を採決 議案第66号及び意見書案第1号を上程及び採決 閉会



令和6年第3回鶴ヶ島市議会定例会を8月27日（火）から9月24日（水）までの29日間の会期で開催しました。
本定例会では、市長提出議案等23件、意見書案1件及び決議案1件を審議しました。
また、一般質問を3日間にわたって行い、14人の議員が登壇しました。

令和6年第3回鶴ヶ島市議会定例会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案等 番号	議案等の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ			公明党		日本共産党	かがやき	すだち									賛成	反対・賛成せず	
				小川茂	瀧嶋正紀	杉田恭之	高橋剣二	今野雄一	小林ひとみ	山中基充	太田忠芳	小島幸広	高篠雅洋	内野嘉広	大野洋子	大曾根英明	小川尋海	出雲敏太郎	福島恵美			村上信吉
議 案 第45号	教育委員会教育長の任命について	(まつい かつひこ氏) (松井 克彦氏)	同意に 決す	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	15	1
議 案 第46号	教育委員会委員の任命について	(たけち みは氏) (武知 美葉氏)	同意に 決す	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	16	0
議 案 第47号	鶴ヶ島市地域包括支援センターに係る包括的支援事業を実施するための職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第48号	鶴ヶ島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について		原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0

令和6年第3回鶴ヶ島市議会定例会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案等 番号	議案等の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ				公明党		日本共産党	かがやき	すだち								賛成 賛成せず	反対・賛成せず		
				小川茂	瀧嶋正紀	杉田恭之	高橋剣二	今野雄一	小林ひとみ	山中基充	太田忠芳	小島幸広	高篠雅洋	内野嘉広	大野洋子	大曾根英明	小川尋海	出雲敏太郎	福島恵美			村上信吉	長谷川清
議案第49号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	16	0	
議案第50号	鶴ヶ島市市営住宅条例を廃止する条例について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第51号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	16	0	
議案第52号	令和6年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第53号	令和6年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第54号	令和5年度鶴ヶ島市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定に決す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	○	16	1	
議案第55号	令和5年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定に決す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第56号	令和5年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定に決す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第57号	令和5年度鶴ヶ島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定に決す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第58号	令和5年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定に決す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第59号	令和5年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定に決す		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	
議案第60号	財産の取得について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	16	0	
議案第61号	財産の取得の追認について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	14	2	
議案第62号	財産の取得の追認について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	14	2	
議案第63号	財産の取得の追認について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	14	2	
議案第64号	財産の取得の追認について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	14	2	
議案第65号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	16	0	
議案第66号	令和6年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	16	1	
諮問第1号	審査請求に関する諮問について (公の施設使用料減免登録団体不承認処分)	不可と決す		○	○	○	○	×	×	×	×	欠	×	×	議長	×	×	○	×	○	×	6	10
決議案第1号	財産の取得の追認議案に係る再発防止を求める決議	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	16	0	
意見書案第1号	学校給食費の無償化を求める意見書	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	17	0	

次回定例会のお知らせ

次回の令和6年第4回定例会は、11月27日（水）に開会予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報公開コーナーでご案内します。

ホームページはこちらから

鶴ヶ島市議会

検索



委員会審査

令和6年第3回定例会では、議案第47号、第48号、第50号、第52号～第59号、諮問第1号についてを、それぞれ所管の常任委員会に付託し、審査しました。

常任委員会では、付託議案について様々な質疑などが行われています。

詳細については、二次元コードから録画中継をご覧ください。→



議会全員一致で決議



議案第61号から議案第64号までの財産の取得の追認について、9月2日の本会議において可決した後、再発防止を求めるため全会一致で次の決議を行い、市長へ提出しました。

財産の取得の追認議案に係る再発防止を求める決議

地方自治法、同法施行令、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づく契約に関する議会の議決については、長が有する契約締結権を行使する前提条件であるとされている。

したがって、議会に対して追認を求める契約締結については、議会の重要な権限である「議決権」をないがしろにしたものであり、違法な契約であると言わざるを得ない。

法令遵守が強く求められているなか、起こるはずのない事案が判明したことに關して、市長に対し猛省を促すものである。

市議会としては、法令上瑕疵ある契約となっている事態は看過できず、苦渋の判断としてこれを認めざるを得ないが、二度とこのようなことを起こさないために、契約事務のチェック機能の見直しなどを行い、再発防止を強く求めるものである。

以上、決議する。



国に対して、「学校給食費の無償化を求める意見書」を提出



学校給食費の無償化を求める意見書

急速に進展する少子化により、子ども・子育て施策への対応は予断を許さない課題であり、国においても子育て施策の具体化が進められている。

近年の物価高騰により、市民生活が厳しくなっている中、子育て家庭の教育費は、教材費や制服・体操服・学用品・修学旅行等の積立金・給食費など多岐にわたっており、保護者の大きな負担となっている。

本市では、学校給食費については、平成26年から金額を据え置き、物価高騰等による材料費の影響分については、保護者に負担を求めることなく公費で負担している。

一方、学校給食費無償化は、多大な財政負担を伴うものであり、本市では、無償化をすることで年間約3億円の支出を伴い、継続して支出することは、財政的な負担は相当大きいと考える。

学校給食は、教育の一環として児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、食に関する知識や適切な判断力を養う役割を果たす重要なものであるが、財政力によって自治体間に教育環境の格差を生じることが懸念される。このようなことから学校給食費の無償化については、国において一律に取り組むべきことであり下記のとおりに要望する。

記

国の責任と財源により、学校給食費の無償化に向けた取り組みを速やかに行うこと

夏の交通事故防止運動街頭指導に参加！



令和6年7月19日に、交通事故の防止を図ることを目的に、街頭指導が実施されました。

鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として参加し、啓発品の配布などを行いました。

秋の全国交通安全運動街頭指導に参加！



令和6年9月26日に、交通事故の防止を図ることを目的に、街頭指導が実施されました。

鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として参加し、啓発品の配布などを行いました。

夏休み議会体験ツアー! 鶴っ子議会

1 クイズで議会を学ぼう!

議会ってどんなところ? 議員ってどんな人なの? について楽しく学びました。



2 グループワーク

「住みやすいまちってどんなまち?」をテーマに、鶴っ子議員が率直な意見を出し合いました。



3 議会棟探検

議場、正副議長室、委員会室や議会図書室など、各部屋を親子で探検しました。



4 議場で1分間スピーチ ※詳細は2・3ページへ

鶴っ子議員19名が「住みやすいまち」について、それぞれ自分の意見を発表しました。



鶴っ子議員感想

- みんなと意見交換ができて良かったです。またやりたいです。
- スピーチを考えたり、みんなで交流するのがとても楽しかったです。
- 1分間スピーチは緊張したけど、よりよいまちにするために、いい意見が出せてよかったです。

保護者感想

- こどもたちが、自分の思いを議員さんたちと話し合えたことがとても良かったと思います。
- 実際に議場でスピーチができて、良い経験になったと思います。
- とても良い思い出ができました。これからも毎年、鶴っ子議会を開催して欲しいです。

編集 後記

今号の特集記事は、夏休み
に開催した「鶴っ子議会」で
す。小学5・6年生の鶴っ子
議員から、学校や住みやす
いまちについての提案がたく
さんありました。その提案を緊
張しながらも自分の言葉でス
ピーチする姿に感動しました。
我々議員もこども達に負けな
いよう、今まで以上に真摯に
取り組んでまいります。

また、今号から一般質問の
紙面を刷新し、質問事項を分
野毎にまとめ、より読みやす
い紙面へと改めました。
今後も市民の方々の目を引
く紙面づくりに励んでまいり
ます。

(広報広聴委員)

(高篠)

委員長 小林ひとみ
副委員長 今野雄一
委員 太田忠芳
委員 小川信茂
委員 村上信吉
委員 福島恵美
委員 高篠雅洋
委員 内野嘉広